

# 「感染症を考える月間」について

滋賀県健康医療福祉部健康危機管理課

令和7年1月22日

- 1.「感染症を考える月間」の制定について
- 2.令和6年度「感染症を考える月間」の各種取組について
3. 次年度以降の「感染症を考える月間」について

# 1.「感染症を考える月間」の制定について

2.令和6年度「感染症を考える月間」の各種取組について

3. 次年度以降の「感染症を考える月間」について

# 「感染症を考える月間」の制定について①

## 全国初

## 感染症を 考える月間 11月

### 目的

- ①感染症に対する意識と知識を高めて、適切な判断・予防行動を取るきっかけとなる取組を初冬の11月に集中的に実施し、県全体としての感染症対策を強化  
→感染症から県民の命や健康、社会を守ることに繋げていく
- ②新興感染症の発生などの感染症危機の際には、様々な情報が錯綜し、社会の混乱が生じる恐れがあることから、平時から様々な立場の方と双方向のコミュニケーションを通じて、互いの立場を理解し信頼関係を築きあげ、リスク情報とその見方の共有を推進  
→感染症危機に備えるリスクコミュニケーション体制の整備・推進



「感染症を考える月間」ポスター



令和6年10月22日 滋賀県知事定例会見での月間の発表の様子

# 「感染症を考える月間」の制定について②

国（内閣感染症危機管理統括庁）主催の感染症シンポジウムにおいて、**滋賀県の「感染症を考える月間」が先進的な取り組みとして紹介されました！**

シンポジウム

## 次なる感染症危機への備え

～新しい政府行動計画が目指すもの～

政府では、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、感染症危機に対し強靱な社会の実現に向けて、令和6年7月に「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」の全面改定を行いました。新しい行動計画の内容を踏まえ幅広く議論し、平時からの感染症危機への備えについて理解を深めていただくことを目的として、本シンポジウムを開催します。

**日時** 令和7年1月10日(金) 13:00～15:00

**参加方法** オンライン参加 (YouTube Live)  
申込み期間：令和6年12月12日(木)～令和7年1月9日(木)

**プログラム**

- 13:00 主催者挨拶  
赤澤 亮正 感染症危機管理担当大臣
- 13:05 基調講演  
五十嵐 隆 国立成育医療研究センター理事長
- 13:30 パネルディスカッション  
モデレーター パナリスト
- 15:00 閉会

主催 内閣感染症危機管理統括庁

資料 2 - 4 坂上様投影資料

## 次なる感染症危機への備え

～新しい政府行動計画が目指すもの～

### 国民目線で考える

令和7年1月10日

読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員 坂上博

## 2. 平時から備えよう

- ◆ 地下鉄でマスクをしないで咳をする人を見かける。感染を広げて医療を逼迫させ、高齢者らが命を落とす危険性があることを想像して、適切な行動を心がけよう。
- ◆ 政府行動計画は、「平時から新型インフルエンザなどへの備えを充実させる機運(モメンタム)の維持を図る」ことが大切だと指摘。その通り！
- ◆ 日々の生活で忙しく感染症への意識の優先順位は下がりがち。国や都道府県は「感染症を考える月間」などを定め、国民がコロナの教訓を思い返す機会の提供を。

「平時からの機運(モメンタム)の維持を図る」取組として、滋賀県の「感染症を考える月間」が挙げられました！

国の感染症シンポジウムチラシ

坂上氏(読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員)資料

1.「感染症を考える月間」の制定について

2.令和6年度「感染症を考える月間」の各種取組について

3.次年度以降の「感染症を考える月間」について

# 令和6年度「感染症を考える月間」における各種取組について

## 令和6年度「感染症を考える月間」のメイン事業

…リスクコミュニケーション体制整備にかかる「感染症シンポジウム」を開催しました。

### 感染症危機について考える

～新興感染症発生時に備えた保健・医療・福祉分野におけるリスクコミュニケーションとは～

## 感染症シンポジウム以外の各種取組

| 取組名称                     | 内容                                       |
|--------------------------|------------------------------------------|
| 滋賀県「冬の感染対策」              | 「家庭で実践できる感染対策」の啓発資材の配布                   |
| 地域連携における感染対策検討会          | 全ての病院に必要な感染対策について考える研修会                  |
| 防災カフェ<br>「災害発生時における感染対策」 | 避難所における感染症対策を能登半島地震に現地派遣された職員と考える聴講型イベント |
| 滋賀県感染症対策総合訓練             | 議題3（資料3）参照                               |
| エイズカウンセリング（相談窓口）の拡充      | 12/1の世界エイズデーに向けて、相談体制を強化                 |



# 「感染症シンポジウム」①概要

## 令和6年度「感染症を考える月間」主要事業

### 県で初めて、感染症をテーマとしたリスクコミュニケーションにかかるシンポジウムを実施

#### 感染症危機について考える

#### 新興感染症発生時に備えた保健・医療・福祉分野におけるリスクコミュニケーションとは

**第1部**  
14:05 基調講演  
新興感染症発生時に備えた保健・医療・福祉分野の関係者に求められるリスクコミュニケーションについて  
中島 一孝 滋賀医科大学 感染症学講座 教授  
(一財) 日本感染症学会 会長  
リスクコミュニケーション委員会 委員長

**第2部**  
14:45 パネルディスカッション  
保健・医療・福祉関係者の立場から、新型コロナウイルス感染症発生・まん延時の実体験の紹介等を通じて、今後に向けた対応策を議論  
モデレーター 中島 一孝 滋賀医科大学 感染症学講座 教授  
コメンテーター 角野 文彦 びわこシンポジウム 専門職大会 学長  
中島 一孝 滋賀医科大学 感染症学講座 教授  
(一財) 日本感染症学会 会長  
リスクコミュニケーション委員会 委員長

11月は 滋賀県 感染症を考える月間

#### シンポジウムの概要

|      |                                        |                                                  |
|------|----------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 実施日時 | 令和6年11月29日（金）                          |                                                  |
| 実施場所 | 滋賀県庁危機管理センター&オンライン併用                   |                                                  |
| 内容   | 第1部<br>基調講演                            | 感染症危機に備えるためのリスクコミュニケーションについて専門家から講演              |
|      | 第2部<br>パネルディスカッション                     | 福祉施設・医療機関・市・県・国のそれぞれの立場から、コロナ禍を振り返り、今後に向けた対応策を議論 |
| 対象者  | 保健・医療・福祉関係者、学生、行政関係者、その他当シンポジウムに興味がある方 |                                                  |
| 参加者数 | 239名（現地&オンライン含む）                       |                                                  |



滋賀県知事 開会挨拶



第1部 中島氏 基調講演



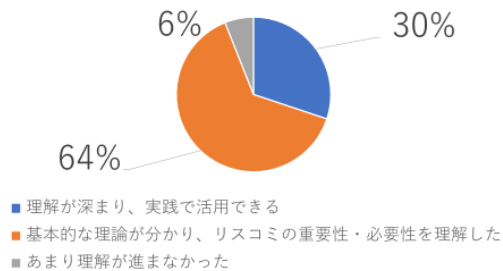
第2部 パネルディスカッション



# 「感染症シンポジウム」②アンケート結果・オンデマンド配信紹介

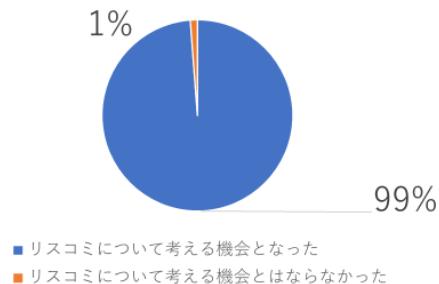
## 聴講者アンケート結果

本シンポジウム受講後、  
リスクミに対する理解は進みましたか



- 理解が深まり実践で活用できる、基本的な理論が分かりリスクミの重要性・必要性を理解した、と回答した方が94%と多かった

本シンポジウムを聴講したことで、  
リスクミについて考える機会となりましたか



- リスクミを考える機会となった方が99%と多かった

→非常に満足度が高い結果でした。

## オンデマンド配信 期間限定・要申し込み

配信期間・・・2月末まで（予定）

### 申し込み方法

滋賀県ホームページ「【感染症シンポジウム】感染症危機について考える～新興感染症発生時に備えた保健・医療・福祉分野におけるリスクコミュニケーションとは～」

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/yakuzi/339981.html>



上記のページに  
基調講演資料も掲載しております。

# 滋賀県「冬の感染対策」(家庭で実践できる感染対策)

## 滋賀県オリジナル啓発資材の作成

**か** 換気しよう  
少し窓を開けても効果的

- ☑ 部屋の対角線上の窓を開けることがベストですが、少し窓を開けることでも効果があります
- ☑ 人が密集する時は換気回数を増やしましょう

正しい換気の方法 → QRコード

**み** ドクターに診(み)てもらう時は、まず電話

- ☑ 発熱や風邪症状で受診する時は、事前に電話等で受診の方法を確認しましょう
- ☑ マスクを着用し、手指消毒してから受診しましょう

受診の際の注意点 → QRコード

**ま** 適切なマスクの着用忘れずに！

- ☑ 咳やのどの痛みがある時はマスクを着用しましょう(咳エチケット)
- ☑ 医療機関や高齢者施設を訪問する時は、マスクの着用が効果的です

正しいマスクの着用方法 → QRコード

**しよ** おうと嘔吐物処(しよ)理しっかり行い感染拡大予防！

- ☑ 冬はノロウイルス感染症をはじめ、感染性胃腸炎が流行しやすくなります
- ☑ 自宅等では、適切に嘔吐物処理や消毒を行いましょ

消毒液の作り方、嘔吐物の処理方法、日常生活の注意点をQRコードで確認

11月は滋賀県感染症月間

冬の寒さにも感染症にも勝(か)ってみせましょう！

滋賀県冬の感染対策

滋賀県健康医療福祉部健康危機管理課

## インターネットTVしが「家庭で実践できる感染対策」ページ開設

滋賀県 > 県政情報 > 広報 > インターネットTVしが



### No.1正しい手洗いの方法

滋賀県「冬の感染対策」の初回動画は、「正しい手洗いの方法」の動画です。

正しい手洗いをしっかりと実践し、冬の感染予防に取り組みましょう！



### No.2正しいマスクの着用方法

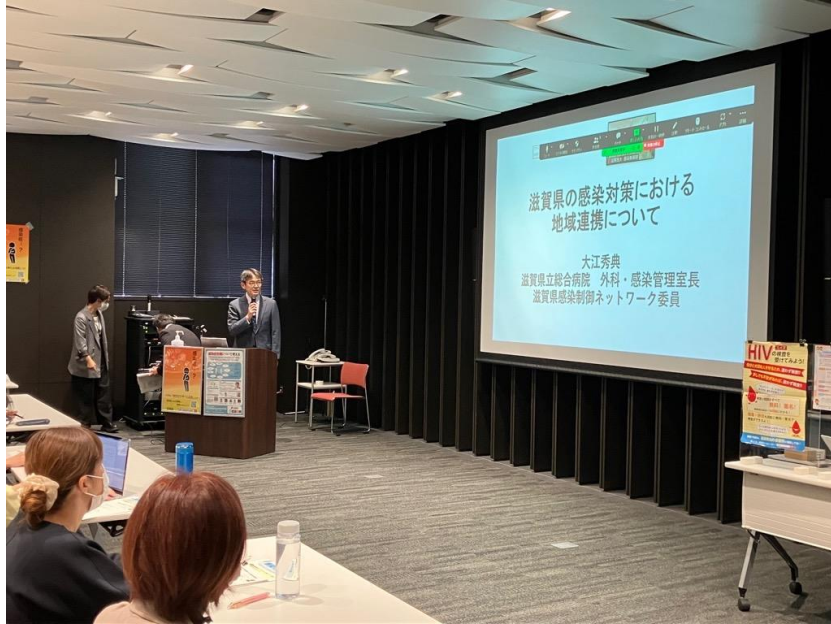
これからの季節、マスクを着用する機会も増えてきますよね。滋賀県「冬の感染対策」の第2弾は、「正しいマスクの着用方法」の動画です。

もう一度、正しいマスクの着け方を確認して、冬の感染予防に取り組みましょう！



啓発資材のQRコードから簡単に感染対策の動画にアクセスできます。  
(動画撮影から編集まで職員が自前で行いました)

# 地域連携における感染対策研修会



## 地域連携における感染研修会概要

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 実施日時 | 令和6年11月1日（金）                   |
| 実施場所 | 滋賀県庁危機管理センター                   |
| 内容   | J-SIPHE（感染対策連携共通プラットフォーム）の活用方法 |
| 対象者  | 病院職員・保健所職員                     |
| 参加者数 | 50名                            |

参加者からは、「他機関との比較が数値でできるため、県全体で各病院の立ち位置がわかるほか、データを共有することで、全県的な感染症対策の向上につながると思う。」などといった意見がありました。

上記の研修会とは別に、1月30日に滋賀県感染防止対策研修会を実施します。

## 感染防止対策研修会概要

|      |                                                    |
|------|----------------------------------------------------|
| 実施日時 | 令和7年1月30日（金）                                       |
| 実施場所 | 草津市立市民交流プラザ（オンライン併用）                               |
| 内容   | 講演1 手指衛生のナッジ～行動変容のメカニズムを考える～<br>講演2 風邪や下痢に抗菌薬は必要か？ |
| 対象者  | 病院職員、診療所・薬局・訪問看護事業所の協定締結医療機関の職員、歯科診療所の職員、保健所職員など   |

詳細は「滋賀県 感染防止対策研修会」で検索してください。11





# 感染症対策総合訓練

滋賀県で初めて、新型インフルエンザ等の未知の感染症が発生したときの県の感染症対策を決定する「第1回対策本部員会議」や、県内で未知の感染症が発生したとき、患者の調査、医療機関までの移送、CT検査・検体採取の実施、警察車両による国立感染症研究所までの検体搬送など、感染症危機発生時を想定した総合的な訓練を実施しました。



訓練詳細は、議題3・資料3で説明します。

# 防災カフェ「災害発生時における感染対策」

令和6年能登半島地震に現地派遣された職員・後方支援に従事した職員が、「避難所における感染対策」をテーマとして話しました。

【令和7年1月10日更新】第93回『災害発生時における感染対策 ～避難所の感染対策の重要性と向上策～』（令和6年11月13日（水））の概要をご覧ください。

日時: 2024年11月13日（水）18時30分～20時

災害時の避難所では、感染拡大防止策を徹底することが極めて重要です。平時から備えるべき感染対策物資の備蓄や基本的な予防策について、ゲストに令和6年能登半島地震の被災地で活動した薬剤師や看護師を迎え、それぞれのタイミングで直面した課題なども交え、経験を基にした実践的なお話をしていただきました。

ゲスト: 横山 哲也 さん 薬務課 課長補佐

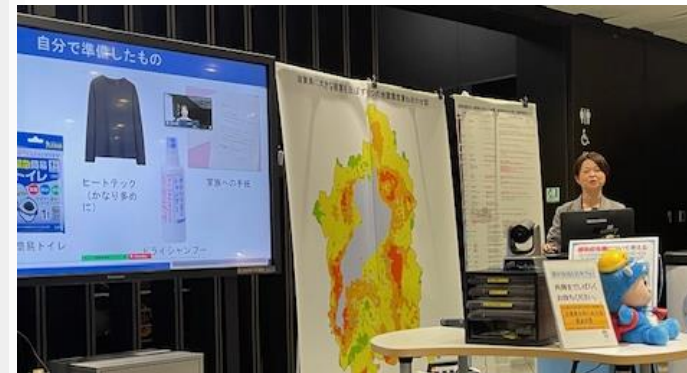
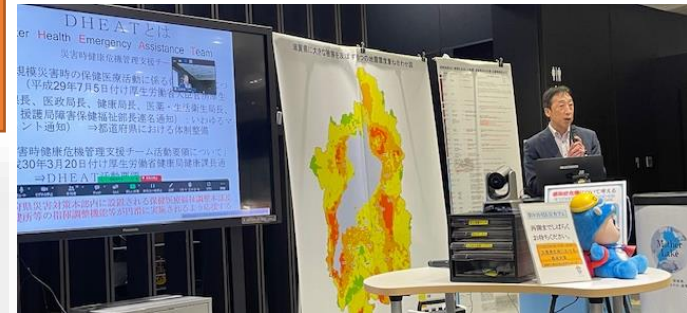
発災直後に能登北部保健所に入り、活動場所づくりから、保健所の方針や災害支援組織の把握、保健師チームの受援体制支援等、初動の保健業務全般に従事しました。

ゲスト: 淡野 睦 さん 健康危機管理課 主査

全避難所で使用できるゾーニング等の感染対策のマニュアルを作成するとともに、現地に派遣する県や市町職員に対して、基本的な感染対策の研修を実施しました。

ファシリテーター: 西川 真介 さん 健康危機管理課 参事

熊本地震では、現地の避難所の運営に従事し、今回の能登半島地震では、現地へのDMAT（災害派遣医療チーム）の派遣調整やDHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）の後方支援に従事しました。





# エイズカウンセリング(相談窓口の拡充)

## 滋賀県 エイズ

### 電話相談

一人で悩まず、  
相談しよ  
う！！

匿名で受け  
られるよ！

日時

月曜日・水曜日  
9:00~12:00

※滋賀県庁閉庁日を除く

電話番号

077-524-0051

※電話代はかかります

専門職が相談  
に応じます

## 12月1日は世界エイズデー

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見  
の解消を図る事を目的に、滋賀県でも活動を行います

11月25日(月)~11月29日(金)

9:00~17:00

上記期間は特別に電話相談を受け付けます！！

(12:00~13:00を除く)

滋賀県エイズ電話相談を、12月1日の世界エイズデーにあわせて拡充を行いました。

その他、各保健所においても性感染症の検査の拡充や啓発物資の掲示・送付、大学に啓発ブースの設置等を実施しました。



保健所が設置した「大学キャンパス内の世界エイズデー啓発ブース」14



1.「感染症を考える月間」の制定について

2.令和6年度「感染症を考える月間」の各種取組について

3. 次年度以降の「感染症を考える月間」について

県では、引き続き、令和7年度も月間に行う各種取組の充実・強化に努めてまいります。が、コロナ禍での知識や経験は日々風化していくため、継続した取組により「機運の醸成」から「感染症リスク情報とその見方の共有」につなげていく必要があります。



県全体で感染症対策の向上を図っていきたいと考えておりますので、市町や医療機関・福祉施設・関係団体等のみなさまにおかれましても、研修や訓練等の取組を充実・強化に努めていただきますよう、御協力をお願いいたします。